

令和6年度
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文
(建築学プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で2ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。)。
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章は、「イギリスの集落保全」(菊地 成朋 著)(布野修司編『世界住居誌』
所収)からの抜粋である。これを読んで後の設問に答えなさい。

著作権処理の関係上、公開しておりません。

著作権処理の関係上、公開しておりません。

(出典) 菊地成朋：イギリスの集落保全，布野修司編『世界住居誌』所収，昭和堂，2005，p. 250

設問

(1) 課題文の下線部に関連して，あなたが最も長く住んできた市町村の大工など建築をつくる人の仕事や発言を，自身の経験や知識の範囲で述べよ(300字以内)。課題文中に書かれたイギリスの村の大工の仕事や発言との違いに焦点をあてること。

(2) (1)に述べた内容がイギリスの村の大工の仕事や発言となぜ異なるのか，あなたの考える理由を挙げよ。そして，その理由を挙げた根拠を，自身の経験や知識にもとづいて述べよ。(2)は(1)に続けて書き，(1)と(2)の合計文字数は600字以内とする。

令和6年度総合型選抜 小論文

工学部工学科建築学プログラム

【出題意図】

建築を学ぶうえで、建築に関する専門知識と知識の習得を目指す意欲と、社会から要請される問題に対して関心を持ち、専門知識を用いそれらの問題への対処を考える意欲とが大切となる。

集落や町並みは建築により支えられていることを理解し、その持続という重要なテーマに対して、日頃から関心を持っているか、そして与えられた課題文の趣旨を理解し、くらしの中での知識や経験と結びつけ、自らの考えを文章で表現できるかを問う問題である。

設問(1)は、身近な建築の作り手の業務を、文中で紹介されたイギリスの大工の業務と比較して客観的に認識できるかを評価する意図がある。

設問(2)は、建築分野の今日的課題に対する関心と思考力を見るとともに、自らの考えを論理的に記述できるかを評価する意図がある。